



原爆被害・核兵器廃絶・
世界平和を訴えるために
使節団を派遣する
平和使節交換 (PAX)
プログラム



あなたの活動を世界に!

アメリカ平和使節団募集

WORLD FRIENDSHIP CENTER



スケジュール

全日程：9/19日(金)～10/3日(金) 15日間

☆前半：9/19(金)～9/27(土) 9日間 (ワシントン州・オレゴン州)

☆後半：9/25(木)～10/3(金) 9日間 (オハイオ州)

学生・生徒は、前半又は後半のみの部分参加可

募集人数・期間

募集人数：4名

募集期間：

5/7(水)～5/31(土)

参加者発表：6月初旬

募集対象

被爆者、被爆2世～4世をはじめ、様々な形で被爆体験を継承している方
大学生、高校生、留学生も可。事前準備の会合や帰国後の報告会などに参加可能な方

費用

往復旅費、約21万円
(2025年4月現在、変動の可能性あり)
ESTA(渡航認証)申請費用
日本国内の移動費は含まない
旅費の一部を補助予定
海外滞在費用は現地負担

裏面案内をお読みいただき申込フォームに必要事項を記入してお申し込み下さい

お問い合わせ 特定非営利活動法人ワールド・フレンドシップ・センター
〒730-0842 広島市中区舟入中町11-13 クレール舟入中町302
(火曜日～金曜日10:30～15:30)

☎ 082-503-3191

office@wfchiroshima.org



平和使節交換



申込フォーム

1964年、バーバラ・レイノルズさんの提唱した広島・長崎世界平和巡礼が実施され、それをきっかけにワールド・フレンドシップ・センター(WFC)が作られました。核兵器廃絶と世界平和を訴えた世界平和巡礼は、先駆的な取り組みでした。英語ではWorld Peace Study Mission と呼ばれたように、世界平和を築くために、訪問地の人々と対話し、学んでいくということが大切にされました。WFCでは、2024年に広島・長崎世界平和巡礼60周年記念パネル展を実施し、広島市民の方々に世界平和巡礼について知っていただく機会を持ち、世界平和巡礼の精神はその後の平和使節交換に活着ていることを紹介しました。

Peace
平和

日本被団協のノーベル平和賞の受賞をきっかけに、世界の人々によって、被爆証言を聞くことの重要性、また、被爆体験の継承についても、その重要性が認識されました。今年是被爆80周年、WFCの姉妹機関であるオハイオ州ウィルミントン大学平和資料センター、及び平和教育会議「広島・長崎30年後」の50周年にあたります。節目の年にあたる今年、アメリカPAX2025ー広島・長崎世界平和巡礼60周年記念ーとして、ウィルミントン大学平和資料センターの協力のもと、企画・実施します。また、期間の前半は、WFCのアメリカ委員会の協力によりワシントン州、オレゴン州への訪問が実現しました。訪問地では、学校、教会、地域のコミュニティで、被爆の実相を伝えるとともに、アメリカの人たちと平和について共に考え、交流を通じて、市民の立場から、核兵器廃絶、恒久平和を訴えます。

Ambassador
使節

ウィルミントン大学 平和資料センター

WFCの創立者バーバラ・レイノルズがアメリカに帰国後、ウィルミントン大学に設立したのが「平和資料センター」です。

9月29日から開催される記念行事に参加します。

「核兵器廃絶」と「芸術」に焦点を当て、地域・国家・世界の正義と平和を達成する手段として、核兵器廃絶の必要性を認識させるために、アーティストが進行役を務める体験型のシンポジウムです。

eXchange
交換